

経済指標ウォッチャー

米ISM製造業景況感指数 大幅に改善

経済活動の再制限により、今後の回復ペースは鈍いと見込む

ISM製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の製造業の景況感を示す指標のひとつ。米国の主要指標の中で最も早い毎月第1営業日に発表され、景気先行指数として非常に注目度が高い。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

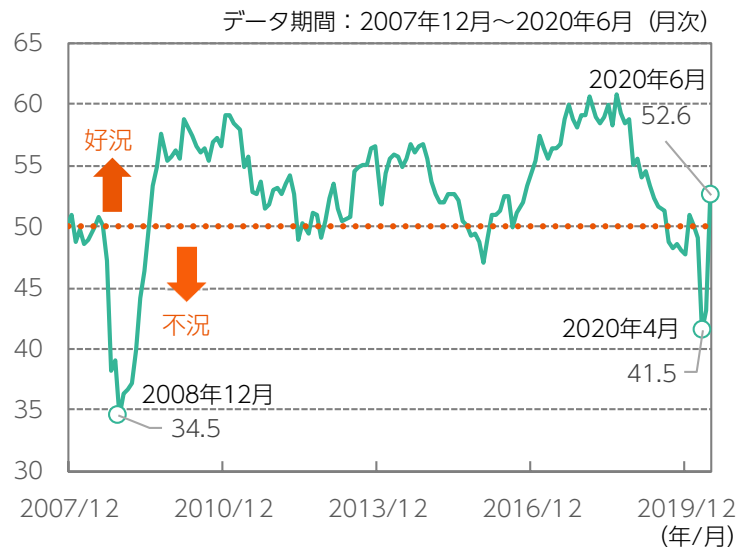
2020年6月は市場予想を上回る改善となる

全米供給管理協会（ISM）が7月1日に発表した、2020年6月の製造業景況感指数は、前月から大幅改善し52.6となりました（図表1）。事前予想（49.8）を大きく上回り、好況・不況の節目である50を超え、14ヵ月ぶりの高水準となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、4月の景況感指数はリーマンショック直後の2008年12月（34.5）以来、およそ11年ぶりの落ち込みとなりました。5月中旬より各州で段階的に経済活動が再開し始めたことなどを背景に、6月は同指数を構成する5つの指数のうち4つが前月から改善しました。

生産と新規受注の大幅改善が全体をけん引

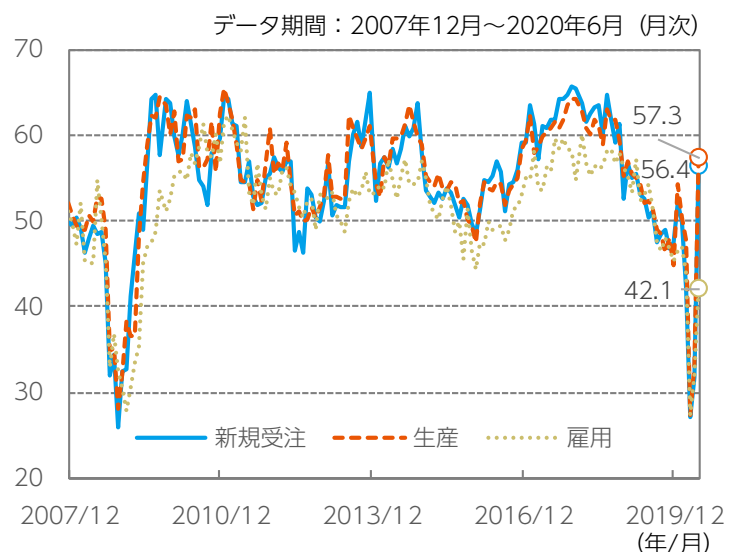
主な構成指数では、新規受注が56.4（前月比+24.6）、生産が57.3（同+24.1）など、前月から大幅に改善されました（図表2）。6月の製造業景況感指数の上昇は経済活動の再開にともなう生産と新規受注の改善が主な要因となったと考えられます。一方、足元ではアリゾナ州などの17州で再び経済活動が制限されています。米国における新型コロナウイルス感染第2波への懸念は根強いことから、今後の製造業景況感指数の回復ペースは鈍くなるものと予想します。

図表1：製造業景況感指数は大幅に改善



※ISM製造業景況感指数の推移

図表2：新規受注や生産を中心に回復が顕著に



※ISM製造業景況感指数（構成指数）の推移

出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>